



藤田医科大学 地域共生社会推進センター 地域共生 UPDATE ! センター長通信

VOL.
11

2026年2月

NEWS ! 地域共生・親善サッカー大会が開催されました

2026年2月22日、藤田医科大学総合グラウンドで「地域共生・親善サッカー大会」が開催されました。豊明団地に住むベトナム出身の皆さん、名古屋市緑区の太子小学校、東陵中学校のサッカー部員など総勢約100名の参加を得て、楽しく交流をしました。会場には、ロービジョン（弱視）でフットサルを体験するコーナーもでき、多くの学生・子どもが体験しました。



2月としては理想的な好天に恵られました。

解説

豊明市内のNPO法人からの提案で実現

今回の大会は、豊明市内の多世代間交流促進などを目的として2021年に設立された「特定非営利活動法人創Seeds」からの協力依頼を受けて実現しました。

豊明団地のある二村台地区には、1,000人前後のベトナム出身者が住んでいて、新しく転入してきた人たちも多いので、昨年度、体育館でサッカー交流を始めたとのこと。

校地が豊明市と名古屋市緑区にまたがる藤田医科大学、ベトナムコミュニティとの交流など、地域の社会課題と一緒に取組めればと共催させていただきました。藤田医科大学の学生35名がボランティア参加して下さり、運営の手伝いや、子どもたちと一緒にサッカーをするなど、交流に花を添えました。

ポイント

サッカー交流の先にあるコミュニティ

お互い初対面でしたので、開始時には引込み思案し、ぎこちない感じでした。主催者側のサッカー指導に詳しい成田陽介さんがアイスブレイク（交流の小活動）を実施、互いに声をかけあいました。最後は多くの参加者・学生が熱の入った試合。屈託のない笑顔が広がりました。イベント終了後、ベトナムコミュニティのリーダーの方が寄ってきて、晴れやかな表情で「楽しかったです。」と感謝されました。

成田さんによれば、こうした機会を通じて「互いに顔の見える関係」ができることで、互いに困った時や災害の時に助け合えるコミュニティになればとのことでした。

当センターも地域社会交流から孤立防止など共生の取組みに進められればと考えます。

ひと言メモ

豊明市でも、藤田医科大学でも身近に活躍するベトナムの皆さん

ベトナムは19世紀まで漢字文化圏で、こんにちはは「シンチャオ」、ありがとうは「カムオン」。漢字表記は、それぞれ「慎謝」、「感恩」。言葉の由来を知って、一層身近に感じます。

豊明市には6万8千人近くの住民、そのうち7%が外国人、その40%、1,895人がベトナム人です(2025年)。真面目で勤勉な印象の強いベトナム出身の皆さんが活躍しています。

藤田医科大学でも、3年前には藤田学園が就学支援したベトナム出身の看護学生が1名、2年前には5名が国家試験に一度で合格し、藤田医科大学病院に就職しました。

ベトナムに限らず、草の根交流から人材育成まで連続した関係性を築ければと考えています。

連絡先

藤田医科大学 地域共生社会推進センター

センター長 堀江 裕

【事務局】 〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98

藤田医科大学2号館3階 学事部学事課

0562-93-2653 c-inclusive@fujita-hu.ac.jp

URL: <https://www.fujita-hu.ac.jp/c-inclusive.html>

